

# ニホンナシ晩生品種「甘太」「王秋」の栽培特性

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－ナシ－品種

## 2 担当者名

南春菜、額田光彦、佐久間宣昭

## 3 要旨

本県のナシの生産振興と農業者の経営安定を図るためには、「幸水」「豊水」に偏重した品種構成を見直す必要がある。ニホンナシ「甘太」は10月上旬に、「王秋」は11月上旬に収穫できる晩生品種であり、大玉で食味が優れることから、「幸水」「豊水」「あきづき」に続く品種として有望である。

- (1) 果樹研究所における「甘太」の収穫期は10月6日(生育日数171日)で、「あきづき」より収穫期は約10日遅く、「新高」と同時期である。大玉で糖度が高く食味良好である。腋花芽は着生しにくいいため短果枝主体の着果となるが、側枝が大型化しやすく短果枝の花芽は長期間維持できないため、側枝更新は3～5年程度を目安とする。
- (2) 果樹研究所における「王秋」の収穫期は11月3日(生育日数201日)である。大玉で糖度と酸味のバランスがよく食味良好である。短果枝の花芽の着生が良く、維持しやすい。年によって生理障害による葉焼けが発生することがある。収穫前落果を起こしやすいので、落果防止剤の散布を行う。

表1 ニホンナシ「甘太」「王秋」の果実品質(果樹研究所)

品種	満開日	収穫盛	生育日数 (日)	一果重 (g)	糖度 (° Brix)
あきづき	4/19	9/26	159	499	12.6
新高	4/12	10/6	177	601	12.2
甘太	4/18	10/6	171	505	13.6
王秋	4/16	11/3	201	564	12.1

注) 数値は2017～2021年の平均値

表2 花芽着生率 (果樹研究所)

品種	花芽着生率(%)			
	2年枝	3年枝	4年枝	5年枝
甘太	58.3	48.7	44.4	44.1
王秋	78.8	71.8	59.1	62.7

注1) 花芽着生率: 花芽が着生している短果枝数/全短果枝数

注2) 数値は2018～2020年の平均値

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～令和7年度
- (2) 研究課題名 温暖化に対応した果樹の生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 良食味で栽培容易な晩成ニホンナシ新品種「甘太(かんた)」, 農研機構, 2013.
- (2) 寿ら, ニホンナシ新品種「王秋」, 果樹研究所研究報告3号, p.41-51, 2004.